

## 意見・要望等仮集計(運営委員会・活動部会・シンポジウム等)

経 済 (順不同)	
地域振興	1. まちづくりを中心に地域経済の活性化を図ってほしい。 2. 「多摩川」を地域ブランドとして他の地域へ発信し、多摩の地域経済の活性化へ繋がられるような活動を展開してほしい。 3. 青梅・奥多摩・あきる野の自然を観光業(ビジネス)として全国に発信できるものになりたい。 4. 事業計画を行っていく上で、地元企業が参加。連携し、地域企業の活性化にも繋げてもらいたい。 5. 埼玉県川越市「子江戸川越」のようなまち全体で人を呼び込む。
遊歩道	6. 遊歩道の整備と植樹をしてほしい。 7. 上流から下流まで歩道が出来ると素晴らしい。(3件) 8. 源流から羽田までサイクリングロードを整備したい。そのサイクリングロードに桜の木(大田区では並木になっている)、菜の花、コスモスを植えてみてはどうか。 9. 川沿いに小路を増やし、散歩したり、サイクリングしたり出来る環境を作って欲しい。 10. 羽村より上流に遊歩道・サイクリングロードを建設してほしい。(2件) 11. 羽村から取水している玉川上水は、杉並区高井戸まで延長約30kmの水とみどりの帯を形成している。この上水に沿って遊歩道が整備されているが、福生市の一部(2.1 <sup>※</sup> )で遊歩道が途切れており、完全な形を成していない。この問題も取り上げてもらいたい。(3件) 12. なお、平成16年度から東京都には運動し、呼びかけている。 13. 鳥の集まる街道(実のなる木)を作してほしい。 14. 友田～御岳沿いに遊歩道を作りたい。 15. 自転車パス・ウォーキング・パスなど遊歩道・サイクリング・ロードの整備の必要性がある。 16. ウォーキング・パスが魅力的。是非やってほしい。身近な生活の中で、楽しめる多摩川を目指したい。 17. 梅・ウォーキング・パスは素敵な案だと思う。未来に残していけるところに魅力を感じた。
桜の調査・桜マップ・観光マップ等	18. 多摩川の源流を探る探検の旅を実施してはどうか。 19. 19年度に桜の現状調査を行い、多摩川流域の人達に桜の現状調査の調査員になって貰ってはどうか。特に、地域の人達がIT上で参加できるような仕組みを作りたい。 20. 一斉開花する「ソメイヨシノ」より、長生きする山桜(自然交配種に近い桜)など、大木になるものも対象に考えてほしい。 21. 桜はソメイヨシノだけではない方が良い。例えば吉野の桜、千本桜(山桜)等がある。山桜は色々な変異があり、色々な花が咲くので、こうした見方もあると思うし、多摩川には、原生種を活かした桜がメインになっていくと思う。 22. それぞれの地域で、どういう桜が地域で「自慢心」や「人に見せたい気になるのか」を教えてください。 23. 「ソメイヨシノ」であるのか、または他の品種であるのか検証し、基本的なデータを作りたい。 24. 桜のアンケートを回収しやすいように、基本的な情報が抜けていないか等検討していくのが良いと思う。 25. 樹齢等、どういうものが必要な情報なのかも含め、検討して頂きたい。 26. 「住民はここ一点の桜が見られる。」等、特に住民には早い桜が喜ばれるので、そうできるように目指したい。 27. シンボリックで「桜街道」や「桜並木」はとても良いと思うが、無理して植樹するのはどうかと思う。 28. 吉野梅郷に桜の巨木があるので、掘り起こしてみたら面白いと思う。 29. 地域的な問題もあるだろうが、狛江では桜ではなく柳見をしよう等、郷土にアプローチしている。桜も加えて緑街道等の構想も多摩川にあって良いと思う。 30. 夢の桜街道について、桜だけでは単調で個性がないと思う。青梅なら梅でもいいし、奥多摩ならもみじでもいい。多摩川を美しく演出するなら、桜だけでなくもいいのではないだろうか。 31. 羽村も桜の名所だが、それぞれの地域で桜の名所作りができたら良いと思う。 32. 春には桜マップを観光協会で作成し、秋には紅葉のマップを作るなど、同じエリアを対象に切り口を変えて、通年で多摩川の観光名所をつくりたい。 33. 桜マップと同じエリアに、例えば八王子では甲州街道のイチョウ並木や歴史的なものが多いので、秋の紅葉についての情報マップ等、同じエリアを違う切り口でやってみてはどうか。桜から始めるというのは良いと思う。 34. 多摩川に沿って往復で桜並木の遊歩道等を作るのも良いと思う。

	33. 多摩川の水辺のコンサートを開催したい。音楽プロジェクトとして「青梅プロムナードコンサート」というものを年2回、4月と9月に実施している。
	34. 子供の「水辺の楽校」のように、水質調査や桜調査も子供達が参加できるようにしたい。(環境・教育文化にも掲載)
イ ベ ン ト	35. 世田谷区では8月最後の土曜日に、多摩川でいかだレースをしているので、参加してはどうか。
	36. 川で行う駅伝(舟、いかだ等)をしてはどうか。
	37. 各市区町村の物産展。(2件)
	38. 多摩川の現状を知る活動。多摩川沿いを歩く大会の実施。
	39. いも煮会や花火大会等のイベントを通じて、フォーラムの情報を発信していく運動。
	40. 各市区町村対抗の多摩川駅伝のようなものを実施してはどうか。
	41. 多摩川を利用した地域の方も参加しやすい四季のイベントがあると盛り上がると思う。(例:春は夢の桜街道、夏はフェスティバル、秋は芋煮会や焼き芋会等を商店街と協力しながら実施、冬は多摩川土手沿いにイルミネーションを設置する等)
	42. 高校や大学と連携し、多摩川の下流域を利用したレガッタ(ボート競技)を行いたい。大田区～川崎、丸子橋～第二京浜まで、川幅があるのでレガッタが出来ると思う。大学に声をかけ、春夏はどこでもやっているの、多摩川は穴場の秋に実施する。
	43. 多摩川ブランドを作り、名産品などを売りたい。(レガッタを開催した際に)
	44. 年に1回、多摩川のオリジナルのお祭りを開催してはいかがか。
	45. 多摩川の花火大会を開催したい。
	46. エコツーリズムに興味あり。
	47. 多摩川を知ってもらうことから活動を始めるのが良いと思う。第一歩として、多摩川マップ作りはどうか。
	48. 多摩川流域の住民だけではなく、全国の人々が集まるような企画を立案して欲しい。
	長期 案件
	50. 奥多摩駅からダムまでの昔の青梅線の延長線を復活して観光列車を走らせる。トロッコ列車でもいい。
	51. 青梅～奥多摩間のSL復活プランは非常に興味があり、奥多摩湖の遊覧船等も実現すれば地域の活性化が図れると思う。

# 環 境

(順不同)

森 林 保 全	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水の問題が出ると山、緑の問題が出るが、多摩川フォーラムでも森林の保全活動を始めたらどうか。</li> <li>2. 川をきれいにするには、森林の保全が重要。</li> <li>3. 川の話を話すのに山を切り離しては語れないのではないか。</li> <li>4. 多摩川上流域の山の環境について考える必要がある。(間伐したスギ等の住宅への利用等)。</li> <li>5. 川をきれいにするために、まず山をきれいにしたい。100年の計でもう少し杉を減らし、根を広くはって水を蓄えるという広葉樹を増やしたらどうか。</li> <li>6. 一歩進めた形の森林保全、山の整備等も今後の課題にしていいたいと思う。</li> <li>7. 多摩川の白濁化の原因は森林問題ではないだろうか。</li> <li>8. 川が汚れるのは山に対して間伐など適切な処置を怠ってきたため、大雨が降ると山が保水しないので、山の石灰分を含む濁った水が川に流れ出ている。</li> </ol>
水	<ol style="list-style-type: none"> <li>9. 多摩川を、どのような方向に向けて開発して行くかについて具体的な方策を話してもらいたい。</li> <li>10. 自然を末永く大事にするため、自然との共存を進めたい。(2件)</li> <li>11. 多摩川を自慢できることが大事。新しく何かを行うことだけでなく、昔の清らかな川に戻し、未来に繋げていくことが良いと思う。人間の意識がベースになるとも思う。</li> <li>12. 昔のように子供たちが泳げるような川に戻す。昔の川に戻す努力を。(2件)</li> <li>13. 森林ボランティア活動や農業をやっていて、野菜は自給自足である。子供の頃遊んでいた(その頃は八王子に住んでいた)多摩川に恩返しをしたい。</li> <li>14. 東京湾のアユを多摩川に、更に上流に戻す運動を。</li> <li>15. 多摩川から水を引いている用水路の保全等、環境・農業を含め総合的に検討して頂きたい。</li> <li>16. 上・中流域だけをテーマとせず、下流・支流についても目を向けて頂きたい。</li> <li>17. 湧水路から手を付けてほしい。</li> <li>18. 川が元の状態に戻るよう原因を調査をし、悪化しないよう、すぐに実行してほしい。</li> <li>19. 大腸菌の関係で遊泳禁止と聞いているが、川の水質をもっと良くし、堂々と川で泳げるようにしたい。川で泳げることを、一つのバロメーターとする見方もあると思う。</li> <li>20. そのままの自然を次の世代に受け継ぐことが大事である。</li> <li>21. 多摩川の自然保護が大事。</li> <li>22. 山と海をつなぐのが川、山の人を海へ、海の人が、山へ行けるような活動を考えればよいと思う。</li> <li>23. 多摩川が泳げるような川になってほしい。</li> <li>24. 水環境保全、自然環境保全への活動を行いたい。(2件)</li> <li>25. 水環境の保全について考えていきたい。</li> <li>26. 水量の安定供給について考えていきたい。(御岳に住んでいるが)水源地が駄目なら先は見えないと思っている。</li> </ol>
環 境	<ol style="list-style-type: none"> <li>27. 水の安定供給について、上流に水が集まらないのは人的問題もあるだろうが、水量の問題もあるのでは。</li> <li>28. 食品の微生物の力を借りて食物連鎖でヘド口をなくしたい。</li> <li>29. 多摩川は水温が低くて泳げないので泳げるようにしたい。</li> <li>30. 水に親しんでもらう環境を作りたい。</li> <li>31. 水質もPRして同じ世代の多くの仲間を見つけたい。</li> <li>32. 水質のレベルとしてどのレベルを目標としているのか。飲める水？泳げる水？魚の生息できる水？泳いでいて、うっかり飲んでも大丈夫な水程度？かどうか等、水質についてアプローチしていくことが大事だと思う。</li> <li>33. 環境は自然を使いながら守りたい。また、守るために使う必要がある。使うためにはそれなりの環境が必要だと思う。「持ちつ持たれつ」の関係を大切にしたい。水に関するのではなく、文化の切り口になれば良いと思う。</li> <li>34. 多摩川の上流、中流、下流に意識の温度差があると思う。</li> <li>35. 青梅市は環境が良いため、川に対する環境意識が薄いと思う。</li> <li>36. 水がきれいになれば、同じ川沿いに桜が植わっていたとしても、人の集まりが違ふと思う。水がきれいであることが大切。</li> <li>37. きれいな環境を更にきれいにし、市民が共有し、地球を活性化していきたい。</li> <li>38. 御岳神社の宿坊の雑多水(垂れ流し)が山を汚しているため、そちらも視野に入れてほしい。</li> <li>39. 一つ一つ声を掛け合い、出来ることを、山の整備でも川の整備でもしていくことが大切だと思う。</li> <li>40. 下流では「下流のアユは本当に食べられるのか？」という認識だったので、多摩川のアユを皆に食べてもらい、資源として活用したい。</li> <li>41. 多摩川の上流にいる人に上流の水は下流には流れていないことを知ってもらいたい。飲める水を目標に水質をよくしていこう。変えていこう。</li> </ol>

水環境	42.	多摩川の下流は水源林など眼中にない。下流には99%近く奥多摩の水は流れていないことを認識すべき。皆の家庭と皆の体を通った水から下流は出来ているので、源流の綺麗な水を見て満足してはならない、と教えている。むしろ、人間のつくった水だから汚してもいい、みたいな意識が下流域にはある。「下流は污水处理場からの水で出来ている」、「上流の水は下流に流れていない」等、ショッキングな事実を言わねばならない。羽村の堰の取水率を60%位にするだけで、上流の水が下流に流れる割合が格段に上がると思う。
	43.	多摩川には幾つか蛍の生息地があり、近年その蛍が盗まれて困っている。蛍を守りたいので、腕章をつけて、夜に蛍泥棒の警備を行うなど、美しい多摩川フォーラムでも蛍を取り上げ、考えてほしい。
	44.	地球環境が壊れていく中、このような運動は地球規模からすれば小さな事ですが、その一つの町づくりは大切に、地球を生き返らせて欲しい。
水質調査	45.	19年度の事業計画では多摩川流域の一斉水質調査の測定結果について、データベースをつくり、水質マップを作成したい。今年度はデータベースを作り、今年既に行った調査結果に基づいて水質マップを作りたい。
	46.	来年度は実際に美しい多摩川フォーラムの会員と一斉水質調査を一緒に行い、結果を合わせ、多摩川流域の水質マップを作りたい。その際、水の汚れのマップ、COD・水の汚れのマップ、気温や水温のマップにまとめるつもり。
	47.	フォーラムも独自に多摩川の上流、中流、下流の気温と水温を測り、同じようにマップに落とせば、地球規模の地球環境問題・地球温暖化の影響について知ることが出来ると思う。
	48.	子供の「水辺の楽校」のように、水質調査や桜調査も子供達が参加できるようにしたい。(経済・教育文化にも掲載)
清掃活動	49.	活動報告に1万人清掃活動があった。丹波川(多摩川の源流)の村民と小中学生の清掃活動があるが、これの位置付けをしてもらいたいと思った。
	50.	昭島市の場合、自然保護団体が多摩川の自然を守るということで、一斉清掃の掃除も出来ないのが荒れ放題になっている。市民の一人として困ったものと思っている。
	51.	多摩川を清掃する上で、ごみ捨て場がないので設置してほしい。
	52.	多摩川でバーベキューする人にごみを持ち帰ってほしい。その運動もしている。
	53.	多摩川に遊びに来た人のマナーが出来ていないので困る。
54.	ゴミ拾いの目の前で子供会など親子連れの親がゴミを捨てていく。注意しても反省がない。何らかの形で連携していくことは大きな力になり、大切なので、「京王クリーンキャンペーン」は非常に良い連携の仕方だと思う。	
サイトベ	55.	地域(流域)自由参加型の環境イベントの企画。
案長 件期	56.	奥多摩湖にエコ船を走らせる。

教育文化

(順不同)

水辺の楽校	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「水辺の楽校」というネットワークを通じて、多摩川の中で「絆」が生まれる事に期待。</li> <li>2. 「水辺の楽校」のネットワークが構築された段階で、「今年は青梅でやってみる」等、持ち回り開催により「水辺の楽校」の開催地を変えながら催してはどうか。それをフォーラムが支援する体制が出来てほしい。</li> <li>3. 子供の「水辺の楽校」のように、水質調査や桜調査も子供達が参加できるようにしたい。</li> <li>4. 「水辺の楽校」を通し、上流と下流でネットワークし、意識交換や意見交換をしていくことも大事である。子供がそういうことを通じて問題意識を持つことも大事である。連携活動も行いたい。</li> <li>5. いつか青梅と狛江の子供たちが一緒に多摩川でアユを放流し、遊べる日が出来ることを期待している。</li> <li>6. 「水辺の楽校」の連携が必要である。教育文化部会として「水辺の楽校」等のネットワークを立ち上げたい。</li> </ol>
フォトコンテスト	<ol style="list-style-type: none"> <li>7. 「狛江水辺の楽校」は、「子供シンポジウム」で冊子を作成し、子供・関係者に無料配布している。こうしたことと、「美しい多摩川フォトコンテスト」と連動できたら良いと思う。</li> <li>8. 同じ月に一斉に「水辺の楽校月間」を行い、その中の成果としてフォトコンテストを行うのはどうか。経験交流や「水辺の楽校」体験交流会を、写真(フォトコンテスト)と結びつける。そういうものに参加する形でネットワークとして評価されたいと思う。</li> <li>9. この地域だけでなく、自ら実施しようとする事業やイベントにこだわることなく、例えば北海道からふらっと東京に出てきて、多摩川を見た、その時に桜の写真を撮った等、もっと大きな広い視点からフォトコンテストの広報をかけることも発信力があると思う。</li> </ol>
環境教育	<ol style="list-style-type: none"> <li>10. 多摩川流域の活性化、今の姿を次世代に引き継ぐためのフォーラムであることを実感。</li> <li>11. 多摩川の危険な所を理解させて、良い所を若い人や子供たちに伝えて行こう。</li> <li>12. 地球規模で自然を守ることを幼児に知らせてほしい。</li> <li>13. 上流・中流・下流の人の繋がりをどうやって広げて行くのか？子供・若者を巻き込んでほしい。次の世代のためには教育が一番大事である。地域や国を造るのも教育である。そのためにフォーラムの運動に期待。</li> <li>14. 次世代の視点をどの部会でも忘れないでほしい。</li> <li>15. 自然体験学習教室を大田区でもやりたい。話を広げれば、神奈川県もそうだと思うし、源流の小菅村は山梨県であるので、東京都だけでなく巻き込むことも考えてほしい。</li> <li>16. 自然体系の営みの素晴らしさを子の代・孫の代に伝えたい。行政も東京都だけでなく、神奈川県の手も必要になってくると思う。</li> <li>17. 総合的な学習時間を通して、多摩森林科学園に見学に行きながら地域の桜を調査する等、地球環境を思いやる、次世代を育てる視点を常に頭に置いてほしい。</li> <li>18. 空を見てほしい。川崎の空と笠取山の空の違いを知ってほしい。そして子供に教育していきたい。多摩川を通し、子供を自然に近づけるのが大切だと思う。</li> </ol>
文化	<ol style="list-style-type: none"> <li>19. 学校教育と多摩川、伝統文化と多摩川を考えてほしい。</li> <li>20. 多摩川の歴史についての勉強会が必要である。</li> <li>21. 美術や音楽の面で協力したいと考えている。</li> <li>22. 景観や環境を超えた多摩川沿いの文化交流を考えてほしい。</li> <li>23. 川だけを美しくするのではなく周囲の環境も含めて活動の対象をしてほしい。活動の中に地域・文化・歴史まで勉強する機会をつくってほしい。</li> </ol>
多摩川の歌	<ol style="list-style-type: none"> <li>24. 多摩川の歌を作り、子供に歌ってもらおう。または高校生の合唱曲にしたい。</li> <li>25. 広報的にテーマ曲等が出来たら良いと思う。</li> <li>26. 多摩川の歌、期待しています。(3件)</li> <li>27. 多摩川の曲を作るという話があったが、1フレーズずつを募集したらどうか。皆で歌うと良いのでは。</li> <li>28. 多摩川の歌こそ100年の計画で一番大きな広報になると思う。しかし、1年やそこらでは難しいと思う。では、どのように考えたら良いのか。例えば、川の流域の高校生や小学生や子供たちから詩を集めてはどうか？言葉が一番重要だと思うので、人の心を掴む言葉を書いてくれるプロに最初から依頼してはどうか？当フォーラムの趣旨を理解してくれる方に、出来るだけ僅かなお金で引き受けてもらってはどうか？流域から公募し、選考会など計画すると、3年位はかかる等、問題は色々あると思う。</li> <li>29. 水面下で歌われるようになれば、人々の心の中にゆっくりと入っていくと思う。このような広報もあると思う。</li> </ol>
イベント	<ol style="list-style-type: none"> <li>30. 川遊び、環境、危険性等について地域の子供たちを含めた研修等を企画してほしい。(2件)</li> <li>31. 長続きさせるためには、小中学生に知ってもらうことが必要である。(学校での講演会の開催、多摩川堤での写生大会の開催等。)</li> <li>32. お祭りや水辺の博覧会的なものがほしい。子供がなじみ、体験する場所等がほしい。</li> <li>33. 常設の水族館をつくり、いつでも多摩川の生物が見ることが出来るような環境にしたい。さらには常設の水族館に併設した直ぐに泳げる場所がほしい。</li> <li>34. 水族館も流域全体で役割を考えられるといいと思う。</li> <li>35. 子供向けの運動会。</li> </ol>

イ	36.	多摩川の土手で羽村の水族館をつくりたい。
ベ	37.	あおしんが所有している絵画の展示会等の利用。
ン	38.	教育の件、地元学校の金融経済教育と郷土教育とは？
ト	39.	障害者マラソンなどのボランティア。

## そ の 他

資 金 面 ・ 会 員 面	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. このフォーラムをどのように続けるか、人・資金面の具体的な話までしてほしい。</li> <li>2. 100年続けるフォーラムにするには、会員の確保と活動をしっかり続けることが大事。</li> <li>3. 行政の支援なくしては無理。会員をどう増やすか？</li> <li>4. もっと若い人達の集まり、意見があると良い。</li> <li>5. 会員の増強。(7件)</li> <li>6. スポンサー企業を増やすこと。</li> <li>7. 年齢層の違う人達を交えないと意見が単調になる。まずは何の活動をするか決める必要がある。</li> <li>8. 会員を増やすために、初年度に良い企画をし、次年度はそれをアピールしていく必要がある。また、広報をしっかりとやり、会員数を増やしたい。</li> <li>9. どのように会員を増強していくかであるが、企業で増強するのが良い。大手の企業を回り、企業で募集をかけるのはいかがか。</li> <li>10. 一般会員は企業と違った形で推進していきたい。</li> <li>11. 美しい多摩川フォーラムが1つの「運動体」であることを明確にするべきだと思う。そうすれば、個人会員や市民の方の参加が必須になると思う。</li> <li>12. どのように宣伝するかではなく、どうやってこの運動団体の中に参画させるかが重要になると思う。</li> <li>13. 連携させる組織をいかに多く獲得して、市民や一般の人を入れていくか。</li> <li>14. 青梅信用金庫の営業の方に当フォーラムのことを書いたペーパーを配って頂きたい。</li> <li>15. 企業にアピールするという話があったが、企業ではないと思う。</li> <li>16. 人々に自分達の住んでいる地域から何かを発信しようと思う時、住民がまずは大事だと思う。その住民の子供たちが100年後にどうなるかを考えて、どういう広報が必要か、戦略的に検討していきたい。</li> <li>17. 資金が必要。</li> <li>18. 会費の使い道について、何に役立つのか。</li> </ol>
情 報 発 信 ・ P R ・ ホ ー ム ペ ー ジ 関 係	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報発信が大切である。(3件)</li> <li>2. より多くの流域住民へのPR活動(4件)</li> <li>3. フォーラムの広報活動を具体的に教えて欲しい。</li> <li>4. フォーラムの活動レポート等は発行しないのか。</li> <li>5. PR不足の感あり。まず知ってもらふ努力が必要。</li> <li>6. 当フォーラムのことを知らない住民のために、もっと大きく広報活動を行い、多数の人に参加してもらふ活動が必要。</li> <li>7. 運営等のパンフレット及び申込書をあらゆる場所に置いてみては。</li> <li>8. ネットワークの構築をどのように進めるのか。(2件)</li> <li>9. 多くの市民が多摩川の美しさ、近辺の名所等を知ることができる広報誌を発行したら良いのでは。</li> <li>10. お試し会員により理解してもらふのも良い。</li> <li>11. ネットワーク多摩と多摩川フォーラムが確実に連携することにより、相乗効果が発揮されると思う。</li> <li>12. 少なくとも1周年目にはちゃんと広報をし、当フォーラムをアピールすべきだと思う。</li> <li>13. 「京王クリーンキャンペーン」と連携し、広報してはいかがか。例えば、ホームページや駅、京王ニュースや新聞の折り込み等、京王沿線と中央線の間(青梅線も出来れば)を活用してはどうか。</li> <li>14. 来年の春には多摩川流域の花見客を対象に「100年プラン」をPRし、意見を聞いてはいかがか。</li> <li>15. ロータリーやライオンズクラブ等に声をかけたらいかがか。企業代表もいるし、広がると思う。CSRに関心のある大きな企業に声をかけることも良いのではないか。</li> <li>16. 部会等での情報が言いっ放しにならないよう、事務局の方でホームページに掲載してほしい。</li> <li>17. ホームページを充実し、情報を発信して頂きたい。</li> <li>18. あおしんのホームページとリンクさせないのか。</li> <li>19. 魅力的なホームページにするために、プロの人の手をいれる、ダニエル・カールさんにトップページのところに出てもらふなどして、ホームページを拡充させる必要があると思う。</li> <li>20. ホームページの件で、音楽を流すのは良いと思う。入口のところで綺麗に入っていける。</li> <li>21. ホームページは使いようで、誰かが全部企画しなくても、きっかけを与えれば、皆さん勝手に入って来て手を加え自分たちで運営してくれることもあると思う。</li> <li>22. ホームページをリンクさせたい。(2件)</li> <li>23. ITを使ってどのような運動をしていくのか。</li> <li>24. ホームページをどれだけ精力的に使うか。</li> <li>25. 地域の子供が参加し、どの時期にどんな桜が咲くのが、ホームページで毎日見られるようにしたい。</li> <li>26. ホームページに載せる桜の開花データは、子供・地域の方など誰でも入れるようにしたい。</li> <li>27. 優先順位として、ホームページは直ぐにやらなければならないと思う。</li> </ol>

	28. 音楽や言葉が大事なので、ホームページで心に残るキャッチフレーズ、良い言葉を入れて、「あなた方が入って、こういうことをすれば、こういう運動をすれば、あなたにとって名誉である」と分かるように事務局は企画する必要がある。
	29. 話題性だと思う。一般に読まれている新聞と提携し、活動をアピールし、無料で取り上げてもらう必要がある。
	30. ホームページでリンク集を作成し、お互いの活動などをチェックし合ってはどうか。
その他意見	1. 次回は市区町村の首長の方がパネルディスカッションを試みたらどうか？各地区の考えを聞いてみたい。多摩川への個人的な想いも会場は多摩川の河原がいいと思う。
	2. 日本はどこに行っても川が多くある。他の川と多摩川はどこが違うのか？特徴のあることをメインに検討することが望ましい。
	3. 川のそばに景観をそこなう高層住宅を作らない。
	4. 多摩川の上流・中流・下流域の自治体の交流が必要。
	5. 3本柱のテーマ通りと思う。今後、具体的内容をどこまで取り上げられるか。具体的テーマが上がった段階で、各市区町村、行政運営委員を巻き込んで、それらをどう考えるかを検討させ、フォーラムにフィードバックさせ、検討を繰り返して実現を目指すべきである。
	6. 団塊の世代を巻き込んだボランティアが必要。なぜなら、良い時代(美しい多摩川)を知っている事、時間のある世代でもある。
	7. 会員になった場合の会員証は発行しないのか。(2件)
	8. 美しい多摩川フォーラムの会員証を作らないのか。
	9. シンボルマークを作ったらどうか。
	10. シンボルマークを作成し、企業に貼ってもらい、PRしてほしい。
	11. シンボルマークはビジュアル的にいいし、募集をすれば関心を持ってもらう上でも良いと思う。
	12. シンボルマークがあるほうがPRしやすい。シンボルがあれば名産が生まれるかもしれない。愛着も持つと思うので、シンボルは作りたい。
	13. キャラクター的なものを作りたい。例えば、たまちゃん、宮崎県知事など、地域のブランド力になると思う。「100年プラン」のキャラクターを作れば、キャラクターのブランド力が出来ると思う。またメインキャラクターや各地域のキャラクターがほしい。高知県では駅ごとにイラストが描いてあるので面白いと思った。なお、公募し、それ自体をニュースにする手もあるかと思う。
	14. キャラクターライセンスを作り、商店街などで使って頂いてはいかがか。
	15. 多摩川を知ってもらうことから活動を始めるのが良いと思う。第一歩として、多摩川マップ作りはどうか。
	16. 組織の形態・運営など相当困難と感じます。専門的な事務局が置けるかが課題と思います。
	17. 「多摩圏民」となっていますが、「多摩川圏民」とした方が広がりがあると思います。多摩圏民としますと、イメージが多摩市、奥多摩地区、多摩地区の市民が対象のように感じられます。(世田谷区在住)
	18. 一つ一つの事業を単発に行わないで、連携することで非常に大きな相乗効果を生む。
	19. 「100年プラン」なので、次世代に信用金庫の方でも引き継いで頂き、長い目で美しい多摩川フォーラムが継続される組織・応援、そういう体制を作って頂きたい。
	20. 「子供を育ててくれている多摩川フォーラム」にすれば親世代の信頼が得られると思う。
	21. 「100年プラン」にも続くことだと思いますので、子供たちのために何ができるかが、とても大事だと思う。
	22. 源流域(小菅村)は過疎化が問題となっており、仕事をするのは難しい現況である。環境の視点から源流域を活性化させる何かヒントを頂ければと思う。小菅村から環境を発信していきたい。
	23. 市民共同は八王子市でも最も推進している事業であり、また多摩地域は市民活動が活発であるので、緩やかな市民共同を進めていきたい。
	24. 腕章など、一目でこういう活動をしていると分かるものがほしい。
	25. 開催場所を広げ、いろいろな市で部会を開催してほしい。
	26. 移動部会を立ち上げてはいかがか。(上流、下流の人は遠いので大変なのではないか?)
	27. 「100年プラン」の地域振興の中で地元学というのが大切とされている。美しい多摩川を形にする何か、「地元を知ろう」白書を作成してはどうか。周辺を知る、魚や山などが分かる百科事典があれば、問題意識も変わるのではないか?
	28. 今後高齢化に対応した地域貢献を考えてみては?
	29. 高齢化が進み、高齢者がバスを利用する回数が増えると予想されるため、都バス・西東京バス、多摩バスの停車場にベンチを作って頂きたい。
	30. 次世代の視点をどの部会にも忘れないで頂きたい。
	31. (周辺を知る、魚や山などが分かる百科事典があれば)
	32. 各地区(2~3合同でも可、上流域、中流域)でのテーマに基づく講演会を実施してほしい。
	33. 最上川のケースを勉強・体験(芋煮会等)するため、最上川視察体験ツアーを募集してみては?
	34. 人と川について継続的なセミナーを行ってはどうか。定期的なシンポジウムを行っては。(2件)

以上